

■平成 26 年度（公社）日本地すべり学会総会およびシンポジウム

シンポジウム「大規模地震に備えた地すべり技術の展望」開催のご案内

（公社）日本地すべり学会 事業計画部

下記のとおり、平成 26 年度（公社）日本地すべり学会総会およびシンポジウムの開催いたします。会員各位におかれましては、多数のご出席を賜りますようお願い申し上げます。

記

【日程】平成 26 年 6 月 20 日（金）10:00～17:00

10:00～11:00 通常社員総会

11:00～17:00 シンポジウム

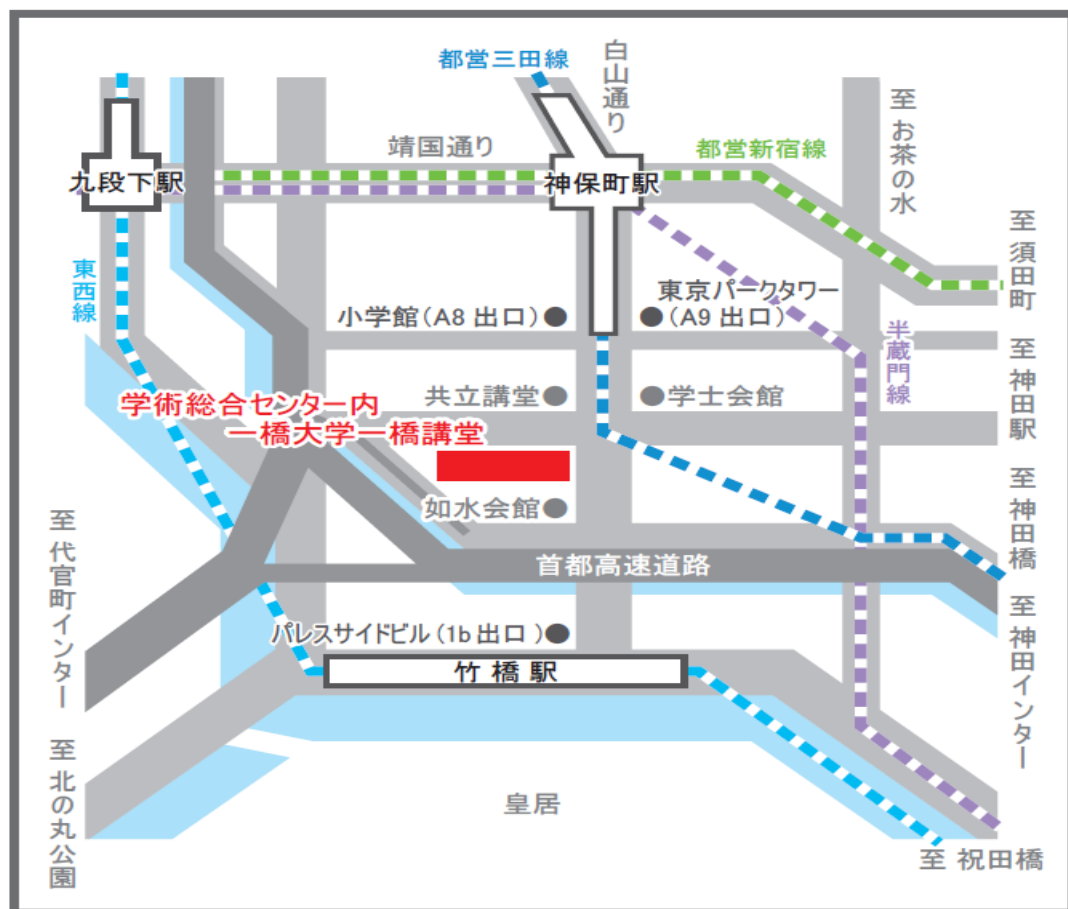
17:00～19:00 意見交換会

【会場】総会・シンポジウム・意見交換会

学術総合センター 東京都千代田区一ツ橋 2 丁目 1 番 2 号

TEL:03-4212-3900（代表）、FAX03-4212-3910

一橋大学一橋講堂への経路



【交通】東京メトロ半蔵門線、都営地下鉄三田線、都営地下鉄新宿線 神保町駅 A9 出口 徒歩 4 分
東西線 竹橋駅 1b 出口 徒歩 4 分

シンポジウム「大規模地震に備えた地すべり技術の展望」（趣旨）

未曾有の被害をもたらした東北地方太平洋沖地震発生以降、日本地すべり学会では、現地調査団の派遣、シンポジウム・報告会の開催、研究発表会特別セッション開催などを行い、地震に伴う地すべり災害による被害状況、地すべり発生機構について議論を行ってきました。同様の海溝型の大規模地震は、東海・東南海沖でも発生の危険が示されています。また、首都圏では、兵庫県南部地震や新潟県中越地震などで大きな被害をもたらした直下型地震発生の危険性も指摘されています。これら予想される大規模地震に伴う災害への備えとして、現在、「安全・安心な国土づくり」、「国土強靱化」のスローガン等のもとに様々な施策が進められつつあります。

このような状況を鑑み、本学会では「大規模地震に備えた地すべり技術の展望」と題するシンポジウムを開催します。東北地方太平洋沖地震をはじめとし、近年発生した地震地すべりの発生メカニズムに関する最新の研究成果や、それに基づく地すべり災害発生の予知・予測および防止に関する研究や技術について講演・話題提供をいただき、今後地すべり研究者・技術者が取り組むべき課題について議論を深めたいと考えます。議論の結果が、大規模地震対策を通じた日本地すべり学会による社会貢献のワンステップとなることを期待したいと思います。

■プログラム

11:00～11:10	趣旨説明～シンポジウム「大規模地震に備えた地すべり技術の展望」開催にあたって
11:10～11:50	「近年の地震による急激な地すべりから学ぶもの」 千木良 雅弘（京都大学）
11:50～12:40	《昼食・休憩》
12:40～13:10	「地震地すべり・斜面災害の発生メカニズム」 佐藤 剛（帝京平成大学）
13:10～15:40	大規模地震に伴う地すべり研究・技術の展望
13:10～13:40	「地震地すべりの力学機構を表現するための数値解析」 若井 明彦（群馬大学）
13:40～14:10	「類型化に基づく地震による斜面変動発生危険箇所評価手法の開発」 檜垣 大助（弘前大学）
14:10～14:40	「地震によって火山灰被覆丘陵で発生する崩壊性地すべりの危険斜面の抽出」 杉本宏之（独）土木研究所）
14:40～15:10	「地震地すべり地に作用した強震波形の推定とその特徴」 秦 吉弥（大阪大学）
15:10～15:40	「地震時の対策工の効果－設計と評価方法に係る課題－」 倉岡 千郎（日本工営）
15:40～15:50	《休憩》
15:50～16:50	総合討論
17:00～19:00	意見交換会

【参加費】 当日会場にてお支払い下さい。

シンポジウム参加費（資料代含む：学生半額）

事前登録 会員 2,000 円，非会員 3,000 円，

当日参加 会員 3,000 円，非会員 4,000 円

意見交換会 5,000 円（学生半額）

【申込】 下記必要事項を記入の上, 6月7日(金)までにFAXもしくはメールにて事前登録をお願いします。

1.氏名・会員番号, 2.所属, 3.連絡先住所・電話・FAX(もしくはメール), 4.会員・非会員別, 5.一般・学生別, 6.意見交換会の参加・不参加

【申込および問い合わせ先】

〒105-0004 東京都港区新橋 5-26-8 新橋加藤ビル

地すべり学会事務局

TEL: 03-3432-1878 FAX: 03-5408-5250

E-mail: symposium@landslide-soc.org